

に産み付けられるので、砂利っぽい海岸なら、土佐湾でもこの行動を見ることができます。

卵巣，肝臓，腸に猛毒があります．皮膚にも肉にも精巣にも毒があり，台湾の書物には「皮膚有巨毒」と記述されています．

フグ科 コモンフグ

Takifugu poecilonotus



2004年5月12日横浜で採集されたコモンフグ。

標準体長20cmほどで，クサフグよりは大きくなりますが，数的には少ないようです．白い斑紋があり，背中側にあるほど丸いのが特徴です．また，体全体に微小な棘があります．

平安時代，フグは布久（ふく）と呼ばれていました．これは，フグ類が口から海水を噴出させ，砂を吹き飛ばして餌を探る行動に由来するという説があります．フグ毒は，餌に蓄積された有毒物質をフグがさらに濃縮したものです．コモンフグも有毒です．貝塚でフグ類の骨が出ますが，素人の調理は危険です．「当たらなくて良かったね」は怖い話です．

河豚くうて尚生きてゐる汝かな 虚子

2005年5月11日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，
四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します．複製ならびに内容についての問い合わせは FAX 088-844-8310（町田研究室直通）でお願いします．